

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

第 6 回 募金・協賛推進特別委員会

会議資料



日時：平成 29 年 3 月 28 日（火）10:00～12:00
会場：滋賀県庁北新館 5-C 会議室

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金に係る
平成28年度 取組実績（案）

1 寄附の実績（H29.3.31 時点見込）

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	計
件 数	2 件	7 8 件	9 0 件	1 7 0 件
寄附金額	11,000 千円	20,066 千円	18,304 千円	49,368 円

平成28年度実績 18,302,939円

（「選手の育成および強化に要する経費」として寄附いただいた分のうち、募金開始から平成28年11月末までに収納した230千円については平成29年度に実施する競技力向上事業に充当）

2 内 訳

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	2 件	25,000 円	
企業・団体	9 件	18,122,661 円	
イベント	1 2 件	107,355 円	街頭募金、スポーツイベント等での募金
据置き募金箱	1 7 件	23,423 円	
その他	5 0 件	※ 25,950 円	びわ湖レイクサイドマラソン（チャリティーランナー（@500 円））、同グッズ売り上げ
計	9 0 件	18,304,389 円	（使途） 競技力向上 5,284,728 円 施設整備 13,019,661 円

※びわ湖レイクサイドマラソンのチャリティーランナー分の24,500円および同グッズ売上分の1,450円、計25,950円については、3月末日までに収納予定。

3 主な取組

(1) 個人

①インターネットによる寄附受付

平成 28 年 4 月 1 日より、Yahoo! 公金支払いによる寄附受付を開始。

②募金箱の設置

競技会場地として決定した県内のスポーツ施設の他、市町や民間のスポーツ施設にも依頼し、募金箱を設置した。

➤ 平成 28 年度末募金箱設置箇所 78 ヲ所

③街頭やイベント会場での募金活動の実施

県内アスリートの協力を得て、街頭募金活動を実施するとともに、イベント等の機会を捉え、両大会の周知および募金活動を実施した。

➤ 街頭募金活動 (9/15) J R 大津駅、J R 石山駅、大津パルコ前

参加者：東レアローズ、立命館大学バスケットボール部、びわこ成蹊スポーツ大学バスケットボール部、県立伊吹高校ホッケー部、滋賀県体育協会、滋賀県障害者スポーツ協会他 合計 95 名

➤ スポーツイベント等での募金活動

朝日レガッタ (5/1)、県障害者スポーツ大会 (9/25)、国体記念講演会 (11/13)、公開討論会「パラスポーツの未来を考える」(12/18)、滋賀オールスター少年野球教室 (12/29)、近江ゆかりの会 (2/2)、びわ湖レイクサイドマラソン (2/26)、びわ湖毎日マラソン大会 (3/5)

④スポーツイベント等とのタイアップの実施

スポーツイベント会場での広報・募金活動の他、「びわ湖レイクサイドマラソン」でチャリティーランナーの募集を行った。

➤ びわ湖レイクサイドマラソンチャリティーランナー 49 名

⑤その他

昨年度作成した募金リーフレットを立てる「卓上ラック」を作成し (3 月末納品予定)、金融機関等に配付する予定。

(2) 企業・団体

①企業向け協力依頼パンフレットの作成

企業活動の取組の一環として大会準備を応援していただけるような多様な手法を提示した。

②直接訪問による依頼

県の部局横断で設置している「歳入確保対策プロジェクトチーム」とも連携しながら、「企業向け寄附募集パンフレット」を用いて、直接訪問による寄附依頼を行うとともに、企業ニーズ、意見の把握に努めた。

➤ 企業訪問

県内本社企業 19 社 県外本社企業 12 社 計 31 社

➤ 企業からいただいた主な意見

- ・目標額や具体的な金額を提示してもらえると、寄附しやすい。
- ・企業名を入れられる商品や啓発グッズへの金銭的な支援であれば検討したい。

③インターネットでの周知・協力依頼

県ホームページに「企業・団体向け寄附募集」メニューを作成し、情報を掲載した。

④その他

滋賀県ゴルフ場協会が、平成 29 年 4 月 1 日からゴルフ場利用者の協力を得て「滋賀国体開催協力金」の取組を開始予定。

(3) 学校との連携

①募金箱ステッカーデザインコンテストの実施

県内の小・中学生を対象に作品を募集、入賞作品のステッカーを貼付した募金箱を県内のスポーツ施設を中心に設置した。

- 募集期間 平成 28 年 7 月 1 日～9 月 17 日
- 応募点数 14 点
- 最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点を表彰するとともに、デザインをステッカーとして採用。

②寄附募集ポスターのデザインコンテストの実施

成安造形大学の学生に、授業の一環としてポスターのデザインを考案してもらい、広報・県民運動専門委員会において審査・決定のうえ、平成 29 年度の大会広報ポスターを作成した。

➤ 参加者

成安造形大学芸術学部芸術学科メディアデザイン領域
グラフィックデザインコース 4 年生 6 名

➤ ポスター掲出期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

➤ 掲出場所

県内のスポーツ施設を中心に、約 700 ヲ所で掲出予定

（４）その他

➤ 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税制度）の導入準備

平成 29 年度における県スポーツ関連事業への充当に向け、対象事業の選定と企業への協力依頼を行った。

➤ ネーミングライツ（命名権）の導入

県立スポーツ施設のネーミングライツパートナーを募集し、県立体育館のネーミングライツパートナーとして㈱成基に決定し、体育館愛称を「ウカルちゃんアリーナ」としてネーミングライツに関する契約を締結した。

平成28年9月15日
街頭募金



平成28年11月13日
2024国体記念講演会



平成28年11月11日
株いずみニーへ募金箱引渡し



卓上スタンド



募金箱ステッカーコンテスト



平成29年1月19日
栗東ロータリークラブ月例会



平成29年2月2日
近江ゆかりの会



平成29年2月13日
寄附者への褒章伝達



平成29年3月5日
びわ湖毎日マラソン大会での募金活動



第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金に係る 平成29年度 取組計画（案）

「基本推進計画」全体スケジュールにおける「スタート・ダッシュ期」の最終年にあたる平成29年度においては、大会マスコットキャラクターの決定や、大会専用ホームページの開設が行われることから、こうした広報活動との連携を図りつつ、以下の取組を進める。

1 個人

引き続き寄附受付の手段を拡大するとともに、大会開催の周知に向けた広報活動と連携して寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

（1）街頭やイベント会場での募金活動の実施

県内のアスリートにも参加協力を依頼して実施

（2）クラウドファンディング導入の検討

平成29年度に開催準備委員会で実施する事業のうち、目的や成果物が明確な事業を対象（新マスコットキャラクター着ぐるみ製作費等）としてクラウドファンディングの導入を検討

（3）募金箱の設置箇所の拡大

スポーツ施設の他、文化施設や民間施設への設置協力を依頼

（4）スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖レイクサイドマラソンでのチャリティーランナー募集の他、スポーツイベント等とタイアップしたチャリティーの実施拡大

（5）学校との連携

県内の学校等と連携協力により、若い世代の発想を活かした寄附募集の機運醸成を図る

➤ 募金箱デザインコンテストの実施

昨年度に引き続き、県内の小中学校等に、募金箱に貼付するステッカーのデザイン募集を行い、優秀作品を県内各所に設置する募金箱に貼付のうえ活用

2 企業・団体

直接訪問による依頼を強化するとともに、企業活動の取組の一環として大会準備を応援していただけるような、多様な手法を積極的に提示する。

（1）直接訪問による依頼と企業ニーズの収集

県内外の企業・団体を幅広く訪問して寄附依頼するとともに、企業ニーズを収集して、企業にメリットのあるメニューを検討・提示

➤ 企業名を表示できる啓発グッズの作成

(2) 滋賀県人会への働きかけ

国内各地の滋賀県人会の協力を得て、両大会の開催を周知するとともに、ふるさと滋賀での大会開催に向けた寄附を依頼

(3) 国体・全国障害者スポーツ大会の開催周知と連動した寄附依頼の強化

各種団体の例会・総会等の機会を捉え、会員企業に対し両大会の開催と寄附募集活動を周知

(4) 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税制度）の導入準備

県外企業による寄附の税制面におけるメリットを倍増させる、「地方創生応援税制」の事業認定に向けた準備を進める。

平成 27 年(2015 年) 8 月 31 日
第 3 回 総 会 決 定

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 募金推進要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、平成36年(2024年)の第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」と総称する。）を滋賀県で開催するにあたり、県民総参加でつくる大会に向けて、開催に係る機運の醸成や大会の周知、大会の円滑な運営を図るために行う寄附金の募集（以下「募金」という。）について、必要な事項を定める。

(推進)

第 2 条 募金は、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会（以下「開催準備委員会」という。）が推進する。

- 2 開催準備委員会の構成員は、連携協力して募金の推進にあたるものとする。
- 3 開催準備委員会は、募金を推進するための計画を策定するものとする。
- 4 前項の計画は、進捗状況等を踏まえ、必要に応じ見直すものとする。

(名称等)

第 3 条 募金は、「第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金」という名称を用いて行うものとする。

- 2 募金は、前項の名称のほか、必要に応じ愛称を用いて行うことができる。

(対象)

第 4 条 募金は、滋賀県内外の個人および企業・団体を対象として行うものとする。

(期間)

第 5 条 募金の期間は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 第 7 条第 1 号に掲げる経費のための募金 開催準備委員会の総会の議決により定める日から大会最終日まで
- (2) 第 7 条第 2 号および第 3 号に掲げる経費のための募金 平成27年 8 月31日から開催準備委員会の総会の議決により定める日まで

(受入れ)

第 6 条 募金による寄附金は、滋賀県が受け入れ、滋賀県国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金に積立てるものとする。

(使途)

第7条 滋賀県は、前項の規定により受け入れた寄附金を第5条各号の募金の期間に応じ、次の各号に掲げる経費の財源に充てるものとする。

- (1) 大会運営に要する経費
- (2) 大会に向けたスポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費
- (3) 大会に向けたスポーツ施設の整備に要する経費

(謝意表明)

第8条 寄附者に対しては、開催準備委員会会長が別に定めるところにより、謝意を表明する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、募金の推進に関し必要な事項は、開催準備委員会会長が定める。

附 則

この要綱は、平成27年8月31日から施行する。

全 体 ス ケ ジ ュ ー ル

○募金の期間

		H27 (2015) 9年前	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) -
						開催内定		開催決定		リハサル大会	開催
使 途	大 会 運 営						(始期末定)				
	大 会 の 広 報										
	選 手 の 発 掘・育 成・強 化										(終期末定)
	施 設 整 備										(終期末定)

【参考】 企業協賛											
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

○具体的な取組

		H27 (2015) 9年前	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) -
						開催内定		開催決定		リハサル大会	開催
		スタート・ダッシュ			キープ				スパート		
様々な募金活動の展開 個 人											
寄附の呼びかけ		インターネット、リーフレット、広報誌等の多種多様な媒体を活用して寄附を呼びかけ（記念品等の購入による寄附含む） 県内の方をはじめとして、県外の滋賀ゆかりの方にも呼びかけ									
募金箱の設置		公共・民間施設に設置(+イベント時)			徐々に拡大（+イベント時）				県内どこでも見かけられるように設置 (+イベント時)		
街頭募金の実施		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					開催内定イベント			開催決定イベント		開催直前イベント	

	H27 (2015) 9年前	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) －
					開催内定		開催決定		リハール大会	開催
	スタート・ダッシュ			キープ				スパート		
(様々な募金活動の展開)										
企業・団体										
寄附の呼びかけ	県内の企業・団体や滋賀にゆかりを持つ県外の企業・団体に対し、直接訪問や依頼状送付などにより寄附を依頼 県内に本社がない企業については、必要に応じ本社を訪問するなどにより寄附を依頼									
寄附付き商品の販売、イベント参加料や施設利用料に寄附を含む方法などへの協力依頼	直接訪問等により協力依頼			対象商品、イベント、施設の拡大を目指して協力依頼				さらなる拡大を目指して協力依頼		
マスコットグッズ販売の協力依頼				ぬいぐるみなどのグッズの販売を依頼				グッズの種類や、協力企業数の拡大を目指して協力依頼		
戦略的な広報活動の展開	インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物など多種多様な媒体により戦略的に広報を行う									
					内定イベントとの連携		決定イベントとの連携		1年前イベントとの連携	開催イベントとの連携
学校との連携	関係機関等と調整	小学生による募金箱コンクール								
				広報物デザインコンテスト、募金アイデアコンペなど						
滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼	直接訪問により協力を依頼							さらなる拡大を目指して協力を依頼		

2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会

～ 開催に向けた平成29年度の主な取組 ～

国体・全スポ開催準備委員会

負担金 28,300千円

(1)各競技会場の選定

- ◆正式競技・特別競技については、平成29年3月および6月(予定)開催の「総務企画専門委員会」において第3次内定案を決定のうえ、7月下旬開催予定の「常任委員会」に諮り決定。
- ◆平成30年に実施予定の中央競技団体正規視察までに、すべての競技会場を内定できるよう調整を継続。
- ◆公開競技や全国障害者スポーツ大会正式競技の選定準備に着手。

(2)開催準備委員会における大会準備

①「開催基本構想」の検討着手

- ◆「総務企画専門委員会」において、平成31年の大会開催内定に向け策定する「開催基本構想」の検討に着手。

②競技役員等の養成

- ◆平成27年8月に決定した「競技役員等養成基本計画」に基づき、審判員等の資格が必要な役員等の養成を行う競技団体に対し補助金を交付。

③宿泊・衛生/輸送・交通にかかる検討着手

- ◆「宿泊・衛生専門委員会」と「輸送・交通専門委員会」を設置し、大会開催時の配宿計画や衛生対策、輸送計画や交通規制等の検討に着手。

④全国障害者スポーツ大会の準備

- ◆「全国障害者スポーツ大会専門委員会」において、国体・全スポの一体感ある開催に向けた具体的方策を検討するとともに、会場地の選定に向けて議論。

(3)開催機運醸成に向けた取組

①国体・全スポマスコットキャラクターの決定・大会専用HPの開設

- ◆平成28年度から選定作業を進めているマスコットキャラクター(キャプティ+関連キャラクター)の決定を行い、キャラクターを活用した大会広報・啓発を実践。
- ◆大会専用ホームページを開設し、インターネットを通じ効果的に情報を発信。

②募金活動の展開

- ◆寄附を通じて「滋賀のスポーツを応援」いただけるよう、県民・企業の皆さんに対して積極的に呼びかけを実施。
- ◆いただいた寄附金は、当面「滋賀県競技力向上対策本部」で実施する、スポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費や、(仮称)彦根総合運動公園・新県立体育館などの施設整備に要する経費に充当。

③子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユースチーム第4期)活動の展開

- ◆他県にはない『滋賀オリジナル』の取組として、小学生～大学生世代の子どもや若者で構成する「ジュニア・ユースチーム」が、その柔軟な視点や発想を活かし、国体・全スポはもとより、広く県のスポーツ振興に関する課題等について調査研究を実施。

滋 賀 県

市町競技施設整備費補助の開始

100,000千円

- ◆競技会場となる市町立施設の整備に要する経費に対する補助を開始。

基金の積立て 等

26,044千円

- ◆「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金」に、企業や県民の皆さんからいただいた寄附金を積立てるとともに、一部を取り崩し、平成29年度に実施する競技力向上対策事業に充当。(H29年2月末残高: 約3,591百万円、H29年度事業充当 230千円)